

Press release

2021年3月31日
リフィニティブ・ジャパン株式会社

リフィニティブ DealWatch、2020年度の「DEALWATCH AWARDS」を発表

総合部門の発行体に「アサヒグループホールディングス」
引受ハウスに「野村證券」を選定

リフィニティブ・ジャパン株式会社の「DealWatch」は、2020年度に国内資本市場において債券や株式を発行した優秀な発行体、海外でオフリングを行った本邦発行体および案件を運営した引受証券会社を称える賞「DEALWATCH AWARDS 2020(ディールウォッチ・アワード 2020)」を発表しました。

DEALWATCH AWARDS は、日本関連の資本市場の育成・拡大に資することを目的に 1995年に設置されました。「本邦市場が世界の主要市場としてさらに発展していく」という観点から、アワードは発行市場における適正なプライシング、流通市場に移行した後の価格形成、資本市場の発展への貢献や創意工夫などを考慮し選定されています。

2020年度の DEALWATCH AWARDS は、「総合」「社債」「地方債」「非居住者円債」「サステナブル・ファイナンス」「株式」の計6部門で構成されています。総合部門では発行体に「アサヒグループホールディングス」、引受ハウスには「野村證券」がそれぞれ選定されました。

賞の選考方法は、まず主幹事実績やシンジケート団参加の実績がある引受証券会社や機関投資家にアンケートを依頼し、該当会計年度の場合から各部門の受賞候補を推薦して頂いています。2006年度からは、希望する証券会社からの自薦を受け、DealWatch 編集部が、選定された候補案件や候補者を DealWatch Awards 判断基準にのっとり、さらに吟味・選考した結果、最終的に受賞案件、受賞者を決定しております。

2020年度の DEALWATCH AWARDS 受賞一覧は添付資料をご覧ください。

Press release

DealWatch について

DealWatch は日本の企業および地方公共団体、非日系発行体の資金調達活動をリアルタイムにレポートする日本語のスクリーンニュースサービスです。その速報性、正確性、専門性の高さには定評があり、信頼できる資本市場情報として、市場関係者から支持を得ています。主幹事・引受等のリーグテーブルは、客観的かつ公平な指標として、発行体の主幹事選定や引受業者のマーケティング活動において幅広く活用されています。

リフィニティブについて

Refinitiv(リフィニティブ)はロンドン証券取引所グループ(LSEG)のグループ企業として、金融市場のデータとインフラを提供する世界有数のプロバイダーです。Refinitiv は、190 カ国で4万余りの企業・機関、40 万を超える利用者を擁しています。お客様が自信を持って重要な投資や取引、リスク判断を実行できるように、情報とインサイト、テクノロジーを提供しています。独自のオープン・プラットフォームとクラス最高のデータおよび専門知識を組み合わせることで、選択と機会に結び付け、お客様とパートナーの皆様のパフォーマンス、革新、成長を促進してまいります。詳しくはウェブサイトをご参照ください。<https://www.refinitiv.com/ja>

以上

DealWatch に関する問い合わせ先:

小林 真美子

DealWatch 編集部

電話番号: (03) 6441-1844

リフィニティブに関する問い合わせ先:

藤森 英明

ロンドン証券取引所グループ(LSEG)

データ&アナリティクス部門広報担当

電話番号: (070) 4373-1566

JapanPR@refinitiv.com

DEALWATCH AWARDS 2020 受賞一覧**総合部門****<Issuer of the Year>****アサヒグループホールディングス**

M&Aにかかるブリッジローンのパーマナント化に向けて公表した調達計画に則り、国内外の債券市場と株式市場を最大限に活用して調達手段の多様化を進めた。海外での成長戦略の遂行と財務の健全性に向けた取り組みが幅広い投資家から評価された。

<House of the Year>**野村證券**

新常态において本邦資本市場の健全な活用と発展に尽力した。発行体の経営戦略に寄り添い、最適な調達計画を一貫通貫で支援。魅力ある市場づくりに果敢に取り組み、長年の課題を克服するとともに市場の拡大にも貢献した。

社債部門**<Bond Issuer of the Year>****NTT ファイナンス**

総額1兆円の国内債を発行し、市場での最高額を一気に塗り替え、市場の潜在力を証明した。海外市場でもドル建てとユーロ建てで総額1兆1000億円超の起債を実現。巨額調達により本年度を代表する発行体となった。

<Bond House of the Year>**みずほ証券**

発行市場の機能維持に向け、丁寧な起債運営で投資家需要に繋げた。本年度を代表する公募劣後債に事務主幹事として参画したほか、新規分野を開拓して市場を主導。国内デット総合で5年連続の首位。本年度も圧倒的なシェアを獲得した。

<Bond of the Year>**第77回三菱UFJリース債（150億円、3年）**

三菱UFJ モルガン・スタンレー証券／みずほ証券／野村証券

第78回三菱UFJリース債（170億円、10年）

三菱UFJ モルガン・スタンレー証券／SMBC 日興証券／野村証券

新型コロナウイルスの感染拡大により7都府県の緊急事態宣言が発令される直前でクレジット市場が不透明な中、国内市場で本年度最初の銘柄として登場。新たな水準を形成して、市場が機能していることを示した。

<Debut Debt Deal of the Year>**第1回東京大学債 (200億円、40年)**

大和証券／SMBC日興証券／みずほ証券

国立大学法人として初の市場公募債。社債でもなく財投機関債でもない新たなカテゴリーの債券、かつ社会的意義のあるソーシャルボンドで起債の先鞭をつけた。投資家との信用リスクの議論を踏まえて財投機関債と同じ新たな居所を設定した。

<Innovative Debt Deal of the Year>**第8回野村総合研究所債 (50億円、12年)**

野村証券

目標達成の場合は発行体が早期償還可能なオプションを付すと共に目標未達の場合は遡及して差額の利回りを支払う。発行体の目標達成を投資家がサポートする世界初の商品であり、資金用途を限定しない汎用性から市場拡大の可能性を広げた。

<Offshore Bond House of the Year>**モルガン・スタンレーMUFG証券／三菱UFJモルガン・スタンレー証券**

国内債と外債を連関させて発行体のグローバルベースでの起債を支援した。NTTファイナンス債では国内外全てのトランシェに関与。本年度を代表する大型案件でトップレフトを務め、国内企業の外貨調達を後押しした。

<Offshore Bond of the Year>**日産自動車ドル債 (15 億ドル、3 年)**

モルガン・スタンレー／JP モルガン・セキュリティーズ／シティグループ・グローバル・マーケット／米国みずほ証券

日産自動車ドル債 (15 億ドル、5 年)

モルガン・スタンレー／JP モルガン・セキュリティーズ／シティグループ・グローバル・マーケット／米国みずほ証券

日産自動車ドル債 (25 億ドル、7 年)

モルガン・スタンレー／JP モルガン・セキュリティーズ／シティグループ・グローバル・マーケット／米国みずほ証券

日産自動車ドル債 (25 億ドル、10 年)

モルガン・スタンレー／JP モルガン・セキュリティーズ／シティグループ・グローバル・マーケット／米国みずほ証券

日産自動車ユーロ債 (5 億ユーロ、3 年)

モルガン・スタンレー・インターナショナル／JP モルガン・セキュリティーズ／シティグループ・グローバル・マーケット／みずほインターナショナル

日産自動車ユーロ債 (7 億 5000 万ユーロ、5 年 6 カ月)

モルガン・スタンレー・インターナショナル／JP モルガン・セキュリティーズ／シティグループ・グローバル・マーケット／みずほインターナショナル

日産自動車ユーロ債 (7 億 5000 万ユーロ、8 年)

モルガン・スタンレー・インターナショナル／JP モルガン・セキュリティーズ／シティグループ・グローバル・マーケット／みずほインターナショナル

コロナ禍において自動車セクターも影響を受ける中、事業構造改革に向けた大規模調達を実施した。仏ルノー社との提携後、国際資本市場で初の起債となったが、丁寧な IR が奏功して約 1 兆 1000 億円相当の手元流動性の確保を達成するとともに調達手段の多様化を進めた。

地方債部門**<Local Government Bond Issuer of the Year>****東京都**

新型コロナウイルス感染症対策事業に資金用途を限定する地方債を初めて起債。環境保全対策などのグリーンボンドをホールセールとリテール向けに継続発行した。社会貢献に意欲的に取り組む姿勢が市場から評価された。

<Local Government Bond House of the Year>**野村證券**

市場環境に即した的確な起債運営を徹底。期初の定償債では、持続性のある起債手法を確立するため金利のベンチマークを変更して柔軟に対応した。国内外貨建て債の発行拡大にも貢献。地方債リーグテーブルで 3 年連続の首位となった。

<Local Government Bond of the Year>**千葉県第12回公募公債(20年・定時償還)(300億円,20年)**

野村証券/SMBC日興証券/三菱UFJモルガン・スタンレー証券

千葉県第6回公募公債(30年・定時償還)(200億円,30年)

野村証券/SMBC日興証券/三菱UFJモルガン・スタンレー証券

金融を取り巻く環境の急変でスワップ金利市場が混乱。従来のプライシングが困難となり、急遽ベンチマーク金利を変更して難局を乗り切った。同手法は後続案件に受け継がれ、定償債の継続・安定発行に大きく貢献した。

非居住者円債部門**<Cross-border Yen Bond House of the Year>****みずほ証券**

感染症拡大による緊急事態宣言直後のマーケット再開を先導。金融機関など常連発行体や本年度を代表する大型案件の起債に関与するとともに、新たな発行体による円債市場での調達をサポートして、市場の活性化に貢献した。

<Cross-border Yen Bond of the Year>**第14回インドネシア共和国債(507億円,3年)**

大和証券/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/野村証券/SMBC日興証券

第15回インドネシア共和国債(243億円,5年)

大和証券/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/野村証券/SMBC日興証券

第16回インドネシア共和国債(101億円,7年)

大和証券/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/野村証券/SMBC日興証券

第17回インドネシア共和国債(134億円,10年)

大和証券/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/野村証券/SMBC日興証券

第18回インドネシア共和国債(15億円,20年)

大和証券/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/野村証券/SMBC日興証券

コロナ禍でも新興国の信用リスクを取れる投資家を発掘し、サムライ債市場が強固な基盤であることも世に知らしめた象徴的な案件。タイトなスプレッドを追求しつつも、ベンチマークサイズを発行した。

サステナブル・ファイナンス部門**<Sustainable Finance Issuer of the Year>****トヨタ自動車**

サステナビリティボンドとリテール債を併せたウーブン・プラネット債で5000億円相当を調達。安全と環境といった社会的課題の解決に向け未来のモビリティ社会の構築への取り組みを推進。発行体の姿勢が幅広い層から賛同を得た。

<Sustainable Finance House of the Year>**みずほ証券**

国際資本市場協会(ICMA)の原則に適合した日本初のサステナビリティ・リンク・ボンドや気候変動適用事業等を使途としたグリーンボンドなど新規性や独自性の高い案件を組成。社会課題解決の支援に向け先進的な取り組みで市場拡大に貢献した。

株式部門**<Equity Issuer of the Year>****ANA ホールディングス**

コロナ後を見据えたエアラインモデルへの変革を早急に果たすため、徹底したコスト削減と構造改革案を事前に提示。投資家から公募増資への理解を得て、3割の希薄化案件にもかかわらず既存株主にも配慮する形で本年度最大の増資を完遂した。

<Equity House of the Year>**野村証券**

リスクオフの流れが続く中で市場再開を主導。難易度の高い大型調達を適正な条件設定で続けて円滑に遂行、市場の安心感を醸成して案件ラッシュに繋げた。案件運営における安定感と強固な販売力で株式市場を牽引した。

<Equity Deal of the Year>**ソフトバンク**

[受渡日 09/23] 野村証券／大和証券／みずほ証券／メリルリンチ日本証券／JP モルガン証券

新政権による携帯料金の値下げ要請が続く中で、国内では民営化を除くと過去最大の売出となった。案件運営では高成長と株主還元の両立を訴求。リテール需要を初日に固めることで海外投資家から想定以上の需要喚起を実現した。

<IPO of the Year>**ブレイド**

[払込日 12/16] みずほ証券／BofA 証券

中長期の成長戦略や直近の財務諸表を提示することで海外投資家に通用する十分な情報開示を行い、国内外で85%という機関投資家への配分比率を実現。国内主導のプライシングから脱却を図り、本邦 SaaS 企業への関心をより高めた。

<Equity-linked Product of the Year>**SBI ホールディングス 2025 年満期ユーロ円 CB (700 億、5 年)**

野村インターナショナル／SBI セキュリティーズ香港／大和証券キャピタル・マーケットズヨーロッパ

投資家センチメントの把握が難しく本邦企業の大型 CB の発行が途絶える中、同社にとって過去最大の調達を敢行。周到な準備と適正なプライシングにより投資家に受け入れられ、アフターマーケットも堅調に推移した。

<J-REIT Deal of the Year>

GLP 投資法人

[払込日 06/29] 英国 SMBC 日興キャピタル・マーケット／シティグループ・グローバル・マーケット

J-REIT 史上初となる海外市場のみを対象としたアクセラレイテッド・ブックビルディングによる公募増資で、調達手段の可能性を広げた。新型コロナの感染拡大以降初の J-REIT 案件となり、市場の活性化にも貢献した。

<Innovative Equity Deal of the Year>

アサヒ・リファイニング USA 2026 年満期ユーロ米ドル建保証付他社株交換社債

[払込日 03/15] モルガン・スタンレー・インターナショナル

親会社を保証体として米国子会社が米ドル建転換社債を発行するという本邦初のスキームを導入。国際会計基準(IFRS)を採用する本邦企業が外貨獲得のため親会社の連結決算への影響を回避できる新たな調達手段の道を開いた。

以上